

保健科学研究論 (保健学の歴史)

木村 朗

公衆衛生と医学の区別

Public Health and Medicine

Distinctions Between Public Health and Medicine

公衆衛生

人口（集団）が主な焦点

個人の関心事の延長として**公共サービス倫理**

地域全体の疾病予防と健康増進に重点を置く

公衆衛生パラダイムは、**環境、人間の行動とライフスタイル、そして医療を目的とした一連の介入**を採用している

専門公衆衛生学位を超えた専門分野群

分析方法（疫学、毒物学）

環境と人口（産業保健、グローバルヘルス）

実質的な健康問題（環境衛生、栄養）

人口の健康に対する**主要な脅威**に重点を置いたライフサイエンスの中心研究は

実験室とフィールド分野の間に存在

母集団科学と量的分析が本質的な特徴

社会および公共政策は**公衆衛生教育の不可欠な部分**

医学

個人が主な焦点

社会的責任の文脈における**パーソナルサービス倫理**

個々の患者の病気の診断、治療、そしてケアに重点を置く

医療パラダイムは**医療**を主に重視している

医学の学位を超えた専門分野群

臓器系（循環器、神経など）

患者グループ（産科、小児科など）

病因と病態生理学（感染症、腫瘍学など）

技術スキル（放射線医学、外科など）

患者のニーズに刺激された中心的な**生物科学研究**は

実験室とベッドサイドの間に存在

数値計算科学は目立つように増えているが、それでも比較的小さい

社会科学は**医学教育の1選択科目**になる傾向

医療と
公衆衛生学
と保健学

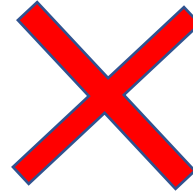
個別の医学 > 医療

集団の健康 > 疫学

個人の健康 > 保健

保健科学の基礎学問は？

- 疫学
- 生物統計学
- 行動科学
- 生態環境学
- ヘルスコミュニケーション学

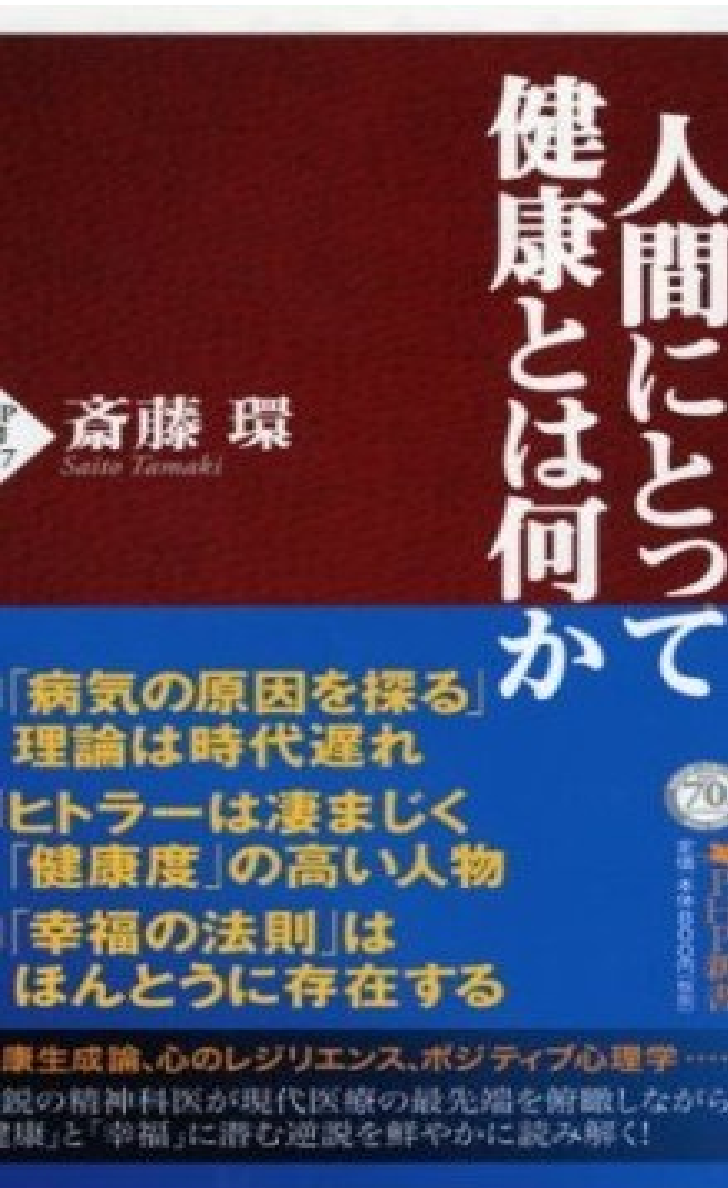


基礎医学
臨床医学
感染症学
栄養学
生活習慣病学
母子保健学
産業保健学

各保健医療福祉、
経済経営、
都市工学等の
専門職の
基礎知識

保健科学（保健学）とは

- 社会と環境と“人間の健康”を考える学問
- 保健学は、人間の健康を保つための学問です。予防医学が主な研究対象となるため、医学や薬学とは深い関係を持っています。また、健康維持の基本となる食生活についても学びます。



保健学 3 分野

「衛生保健学」では、かぜやエイズといった疾病の原因の分析やその予防と、身体的・精神的健康の維持・増進方法の研究をします。

「保健・環境科学」では、公害などの人間を取り巻く環境の中で健康を阻害する要因の分析と、その対策の研究を行っています。

「保健・栄養学」では、栄養学や食品衛生学の観点から考える健康維持のための食生活を研究します。

新分野

このような従来の研究に加えて、病気に社会がどう対応するかを考える研究も、保健学に期待されています。

例えば、認知症と高齢化社会の問題では、介護のあり方や介護をする人の健康についての研究が進められています。

また、高血圧症や糖尿病と食生活の問題、スギ花粉症やアトピー性皮膚炎などのアレルギー問題など、新しい疾患に対して、まったく新しい視点からの研究も要求されています。

保健学の 歴史

保健学部オリジン

東大医学部衛生看護学科＞保健学科

琉球大学保健学部

医療技術短期大学部から保健学科へ

- 大阪大学医療技術短期大学部
- 広島大学にはとうとう設置されず

東大以外の医学部保健 学科の誕生

琉球大学医学部保健学
科 S54

広島大学医学部保健学
科 H4



理学療法学科

金沢大学医療技術短期
大学部

広島大学医学部保健学
科



保健学の研究
発展史
初期

初期：公衆衛生学・
疫学研究の手法と同
根

定量的研究手法 > 量
的研究

保健学 の研究 発展史 中期

中期：公衆衛生学・疫学研究
の手法から分岐

定量的研究から定性的研究
> 量的研究から質的研究へ
(特に看護学・心理学の手法
の発展)

保健学の研究 発展史 現在

現在：公衆衛生学・
疫学研究の手法と一
線を画すものも出現

MIX研究、> 量的研
究と質的研究の混合
的手法

ちなみに統計学の手法では

1. 記述統計学

2. 誤差解析に基づく推測統計

3. 数理統計モデルを用いた
機械学習

初期 1

中期 1 2


現在 1 2 3

正規分布

幾何分布

べき分布

データ解析
に使用する
確率分布の
変遷



使用される手法の変遷

2群の平均値の差 > t検定

分散分析

カテゴリーの適合度 > χ^2 乗検定

重回帰分析

ロジスティック回帰分析

因子分析

生存時間分析

パネルデータ分析

混合モデル分析

一般化線形モデル分析

数理モデル分析（シミュレーション） > モンテカルロ法

保健学の 研究発展 史　　テー マ

初期：基礎・臨床・社会医学
的RQ

中期：医学モデルから社会モ
デルへ

現在：社会モデルから生活モ
デルへ＞医学モデルからの脱
却

国内外の保健学をめぐ
る研究機関
の歴史

北米での医学部・保健学部のなりたち

日本における医学部・保健学部のなりたち

保健科学・健康科学の今後

IOTの利活用

健康リテラシーの利活用

保健学は、「Health Sciences」の邦訳であり、健康の探求とその維持・増進を目的とする諸科学を統合した総合科学である。医学（歯学を含む）・福祉系の大学において設置されているケースも多く、多くの医療福祉関係の専門職を輩出している。また、希に理工学系大学にも設置されていることがある。

学科としては、保健学科、口腔保健学科、看護学科、臨床検査学科、理学療法学科、作業療法学科、鍼灸学科、柔道整復学科、言語聴覚療法学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科、救急救命学科などがあり、これらの学科で授与する学位（学士号）としては学士（保健学）を筆頭に、学士（口腔保健学）、学士（看護学）、学士（保健衛生学）、学士（言語聴覚学）など学科名に合わせた学士号が授与される。

東京大学医学部総合健康学科

- 健康総合科学とは、ひとびとの生活にとって重要な構成要素である健康を軸に置き、人が生まれ、生活し、一生を終える一連のプロセスにおいて、幸福（ウェルビーイング）向上を実現するための科学です。健康総合科学では、人間の個別性・多様性、社会背景・社会規範などへ配慮し、さらに社会へ貢献することを目的としています。

<http://www.hn.m.u-tokyo.ac.jp/field/3%e3%81%a4%e3%81%ae%e5%b0%82%e4%bf%ae/>

京都大学医学部人間健康科学科

- 我が国における医学医療の進歩はこれまで困難とした疾病の診断や治療の多くを可能としてきた。そして移植医療や再生医療，iPS細胞治療などの高度・先進医療によって益々の発展が期待され，今後においてはこれらの具体化が重要である。
- 一方，少子高齢社会の到来により，高齢者特有の疾病や障害を治療し予防すること，また家族の健康を維持・増進することは最重要課題であり，急務となっている。このような諸課題を的確に捉え，解決するため，その到達像としての「望ましい真の健康」を明確にし，その達成に必要な理論と方法を確立すること，そして実践に向けて展開していくことが必要である。
- そこで，京都大学医学部人間健康科学科では，学部教育において高度医療専門職並びに世界レベルの研究者・教育者育成の素地を養い，大学院への進学を向上させるべく教育カリキュラムを構築し，世界トップレベルの先端医療技術を牽引する人材を育成する。

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/hs/hs-course-guide/>

群馬パース 大学大学院

保健科学研究科

M > 各領域

D > 医療科学

次年度 >

公衆衛生学

リハビリテーション領域